

在宅介護支援、
医療と介護の
連携を！



市民と歩む会
黒見節子

福祉

問 介護保険法改正に伴う地域支援事業の進捗状況は。

答 小地域ケア会議は、現在18地区で立ち上げている。在宅医療と介護の連携は、津山市医師会が県の在宅医療連携拠点事業を実施。市も参画し「入退院支援ルールの手引」を作成した。入退院時の手順が示され、在宅療養と入院治療のスムーズな支援、患者と家族の安心へと繋げる。自らの医療や介護の希望を明示する「事前意思表示カード」も検討する。生活支援ボランティア、認知症サポーター養成なども実施している。



小地域ケア会議の様子

選挙

問 期日前投票所をシヨッピングセンター、駅構内に設置する考えは。

答 岡山県選挙管理委員会と意見交換し、大型シヨッピングセンターや駅構内は、スペースの確保等で適当でないこと認識している。

津山を活性化して
いくには



清流の会
田口浩二

地域活性化

問 津山を活性化していくために、観光振興・他都市との交流・雇用・インフラの整備はどのような取り組みがされているのか。

答 観光振興については、視覚的に訴える情報発信をするとともに、外国語版パンフレットも作成しながら公衆無線LANの整備及び（※）POSシステムの導入などに取り組んでいる。他都市との交流については、様々なイベントの開催をするとともに日常的に情報交換をしながら相互に応援しあえる環境を整備している。

雇用に関しては、新たな取り組みとして「企業見学バスツアー」を実施し、市内の企業への就職を促進している。インフラは順次整備を進めている。



企業見学会の様子

【その他の質問項目】

- ◆ グラスハウスの指定管理料について
- ◆ 学校給食に関して

手延べ乾麺の
津山うどんを
ブランド化しては



緑風会
西野修平

地域創生

問 津山産小麦を活用した食の提供が拡大していることは承知しているが、ブランド化には遠い道のりに思える。そこで手延べ乾麺の「津山うどん」のブランド化を提案したいが当局の見解は。

答 平成27年度の地産地消推進事業として、津山産小麦を活用した麺などを学校給食に提供し、小麦の認知度アップを図る取り組みを進めている。この取り組みは市内の製麺業者を始めとする関係者の協力を得て実施しているもので、28年度は更に拡充し一層の地産地消と小麦等地域食材の

認知度アップにつなげたい。手延べうどんによるブランド化はこうした関係者との連携の中で研究したい。



津山産小麦「津山のほほえみ」

【その他の質問項目】

- ◆ 中心市街地の活性化と観光